

# 食文化館で学ぶ小浜の歴史文化

日 時 平成18年6月30日(金)

場 所 食文化館

060630 世界遺産推進室 下仲隆浩

## 1. 御食国について

御食国とは

「みけのくに」御贄・調塩(御調)、伊勢・志摩・三河・淡路など  
御食国若狭おばま

(1) 若狭小浜といきましょう!!

(2) いつから、若狭小浜は御食国??

(展示をみてみよう)

モノを運ぶ

茶碗・鍋・釜・容器・その他

(展示をみてみよう)

## 2. 平安時代の小浜

仏教文化の隆盛

市内に数多く残る

対外交易の窓口

敦賀松原客館、博多鴻瀨館

## 3. 中世の小浜

西津と小浜

国府⇒府中⇒西津⇒小浜

(地名から探る昔の小浜)

守護武田氏

(守護を中心とした総合体)

城の数・城とは何か?、贈り物で当時の気候を考える(展示をみてみよう)

海外貿易と小浜湊

象、唐人六官、神宮寺、組屋とルソン壺、朝鮮出兵、小浜か塚か

## 4. 近世の小浜

小浜城の成立

お城の変化、町の変化

港町と北前船

町人の変化・・・北前

鯖街道

いくつもの鯖街道

どんな格好で??どれくらい??

(展示をみてみよう)

# 1、御食国について

<sup>みけつくに</sup>  
「御食国」……天皇の食材を供出する国

万葉集

「御食国」……………志摩

「御食都国」「三食津国」……………淡路

「御食都国」……………伊勢

<sup>みにえ</sup>  
「御贄」……天皇や宮中に供出する食材

大化の改新の詔 第4条 「凡そ調の副物の塩と贄とは亦郷土の出せるに随え」

大宝律令・養老令 規定なし

延喜式 「内膳式・宮内庁式の管轄」

奉膳（長官）2人 高橋子老

典膳（判官）6人

『基本的に伴造氏族として高橋、安曇』

旬料……………大和・志摩・紀伊・淡路・若狭

節料……………畿内五国・近江・志摩・参河・紀伊

・ 淡路・若狭

なぜ若狭は御食国なのか

① 上記の延喜式記載から、御贄を出す国であるから

② 御食国である志摩・淡路と非常によく似ている

(志摩・若狭……………膳臣、高橋氏)

(淡路……………安曇氏)

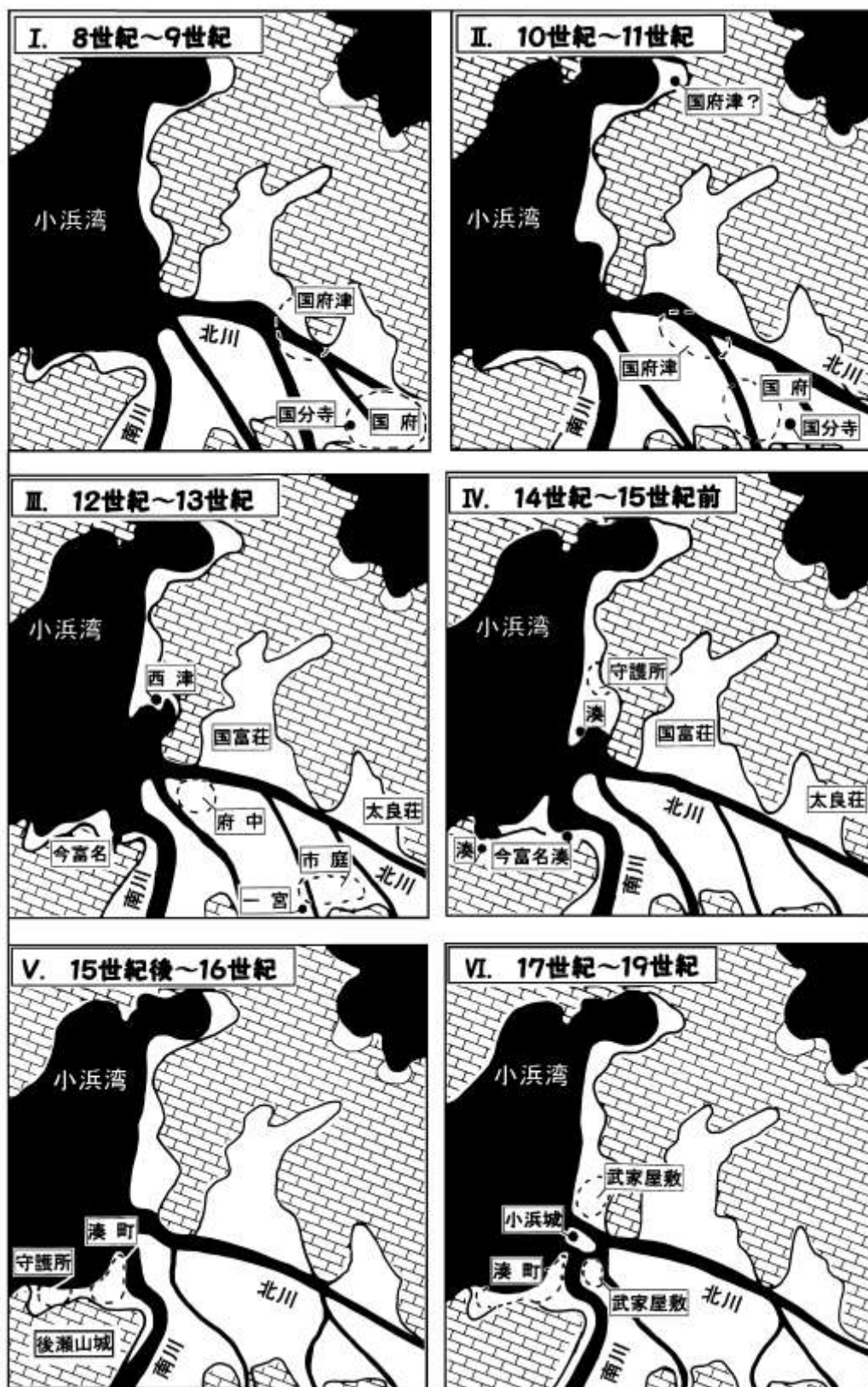
③ 木簡から（青郷の御贄木簡、塩木簡）

④ 東大寺要録の記述

「近江、若狭、紀伊、淡路、志摩、毎月御異味を貢供」

⑤ 木簡にみえる三家人

## 2、中世から近世の小浜（港湾都市小浜）



小浜平野の政治拠点・湊変遷模式図



西津と湊・政治拠点



小浜と湊・政治拠点